

# 医歯学系専攻



# 顎顔面外科学

## Maxillofacial Surgery

教授	依田哲也
准教授	佐々木好幸、(～7月)丸川恵理子、(11月～)森田圭一
講師	(～10月)森田圭一、(12月～)儀武啓幸
助教	(～11月)儀武啓幸、(～3月)中久木康一、高原楠旻、友松伸允、(4月～)原園陽介
特任助教	倉沢泰浩、寺内正彦、加地博一 (4月～)外内えり奈、稲田大佳輔 (～3月)原園陽介、木原翼
医員	中村恵理奈、佐久間朋美、木村敦 (4月～)押部成美、津田晋平、石橋麗未 (～3月)赤津千絵、山田隆彦、杉山健太郎、山本大介
大学院	益田洋輝、赤池優、朱虹霏、丸田上、山崎新太郎、田島理那、 (4月～)黒山かれん、中村大志、山崎功太郎
社会人大学院	柴田恵里、柴田真里、岩崎拓也
大学院研究生	小室千鶴子、六島聡一、熊谷順也、香月祐子、 (～3月)三浦千佳、和智宏太郎
臨床教授	和気裕之
非常勤講師	山城正司、佐藤仁、宮地英雄、小林明子、佐藤文明、八木原一博、 佐藤豊、三島木節、黒原一人、愛甲勝哉、大山巖雄、津川順一、 道川千絵子、長岡亮介、山田峻之、兵頭克弥 (4月～)山田隆彦、山本大介、(12月～)北村智久

### (1) 研究活動

当分野では多岐にわたる顎顔面口腔領域の疾患に対し、以下のテーマを中心に研究を行っている。

1) 顎変形症：手術精度の向上と術後の顎骨の安定性を目的とした研究を行っている。特に上顎骨後方挙上について安全確実な術式の改良や、術前後の下顎頭の形態、安定性と後戻りとの関係、関節円板転位との関係についての検討をしている。シミュレーションソフト(Proplan)を用いた3次元的な骨干涉の確認、顎骨の移動様式の検討、CAD/CAM splintを用いた上顎位置決めバイトの作成を行い、手術精度の向上に努めている。さらには、顎骨や軟組織など術前術後の変化などを3次元的に評価・研究を行っている。骨接合の際に用いる吸収性プレートの力学的強度の研究を企業との産学連携研究として行っている。また、閉塞性睡眠時無呼吸症との関連、自己血貯血の実態調査、外科手術前後の栄養調査、意識調査・口腔衛生に対する評価を行い、実際の臨床に反映させている。三次元超音波振動切削機(ピエゾサージェリー、ソノペット)を導入し、神経血管・骨膜損傷を抑える骨切り等を行っている。また、クリニカルパスにより安全、確実な入院加療、術後入院期間の短縮を実現して患者に優しい医療を目指している。

2) 口唇口蓋裂：口唇口蓋裂患者の初回手術前より口蓋床を用い、術前顎発育誘導による歯列弓形態の経時的な変化について評価を行っている。口唇形成や口唇修正においては、解剖学的サブユニットに最大限配慮した手術を行っている。口蓋形成では、言語機能や顎発育の両面を考慮したよりよい術式を選択し、成長期における咬合状態と言語機能について評価を行っている。上顎劣成長、下顎前突に対しては、上下顎移動術のみならず上顎延長を適応する場合もあり、術後の後戻りや長期術後安定性について検討を行っている。これら顔面の形態評価については、これまでの2次元解析に加えてCTを利用した3次元解析を行っている。また、口唇口蓋裂を伴う症候群を中心として遺伝子解析を行い、病態解明や疾患概念の再構成、予防法の確立等を目指した研究を行っている。

3) 顎関節疾患：重度の開口障害を呈する咀嚼筋腱・腱膜過形成症の治療と、発症原因、重症化に関する臨床研究、基礎研究を進めている。また、顎関節に発生する滑膜軟骨腫症についての外科治療を行うとともに発症原因や病

態解明についての検索を行っている。さらに、開発と実用化を実現した新しい型式の開口訓練器と開口度測定器について、臨床経験をもとに改良を行うとともにさらなる研究開発を進めている。

4) 口腔再建(顎骨再建、骨移植、インプラント、歯の移植): 重度歯周病、顎骨における腫瘍、嚢胞、外傷(骨折や歯の脱落)、先天異常などにより歯を失い、顎骨が失われる場合がある。失われた顎骨を機能的、審美的に回復させるために、自家骨や人工骨を用いてより低侵襲な顎骨再生を目指している。使用する人工骨においては新規材料を用いた臨床研究を行い、最適で安全な使用方法の確立を検討している。また、顎骨が再生された後はデンタルインプラントや顎義歯を用いて咬合機能を回復させ、それによる影響についての検討も行なっている。さらに咬合機能の回復においては、適応であれば歯の移植も積極的にを行い、生着率に与える予後因子の検討を行い、より確実な移植方法の開発や術式の標準化を目指している。

5) 口腔粘膜疾患: 白板症、扁平苔癬などの口腔粘膜疾患に対する治療のために専門外来を設置している。また粘膜疾患の病態に対する原因の調査を、全身疾患、局所、心因性のものにわたって行い、治療には一部東洋医学も導入している。

6) 骨組織再生に関する研究: 自家骨に代わる骨補填材料の開発が望まれており、その新規材料の開発のため、自家骨移植や既存の様々な骨補填材料との比較検討を行い臨床応用を目指している。その再生骨のアパタイト、コラーゲン配向性を評価することで、より詳細な骨質評価を行い、骨補填材料の使用法の最適化を検討している。また、歯根膜細胞や脂肪組織由来幹細胞を用いた骨再生にも取り組んでおり、さらに血管新生・骨再生を促進させる成長因子の DDS を付与した足場材料の開発も行なっている。

7) 口腔癌に対する基礎的研究: 唾液腺悪性腫瘍の検体を利用した、腫瘍特異的遺伝子異常としての融合遺伝子に関する研究を行っている。また、舌扁平上皮癌における密着結合タンパク質の発現と、その浸潤先端部位における動態についての研究を行っている。

## (2) 教育方針

口腔外科学においては口腔、顎、顔面領域に現れる先天性および後天性疾患について、その病因、病理、症状、診断、処置ならびに予後を理解させ、かつ、各種疾患の予防および治療に応用させるように教育する。口腔外科学で取り扱う範囲は非常に広く歯科と医科との重なり合った領域を扱うため、内科学、外科学ならびに隣接臨床医学とは密接な関係を有している。口腔外科学は一般に、歯およびその周囲組織を中心とした疾患を対象とする歯科口腔外科学と、顎口腔顔面領域にわたる疾患を対象とする顎口腔外科学に区分することができ、顎顔面外科学分野は顎口腔外科学分野と分担して教育する。

1-1 第5学年前期において、次の内容について講義を行う。

顎口腔医療(内容については顎口腔外科学分野と分担して行う)

- 1) 顎口腔顔面領域の奇形, 特に唇顎口蓋裂
- 2) 顎口腔顔面領域の変形症
- 3) 顎口腔顔面領域の損傷
- 4) 顎口腔顔面領域の炎症・感染症
- 5) 顎口腔顔面領域の嚢胞
- 6) 口腔粘膜疾患
- 7) 顎口腔顔面領域の良性, 悪性腫瘍
- 8) 顎関節疾患
- 9) 唾液腺疾患
- 10) 系統的骨疾患
- 11) その他

以上の疾患の成因、症状、診断、処置および予後について講義を行う。

1-2 第5学年前期に次の内容について実習を行う。

1) 臨床検査とその評価

- (1) 一般簡易検査(血液型、赤血球数、白血球数、血色素量、血球容積、血球沈降速度、血液像、尿検査)
- (2) 血液検査手技(静脈採血、動脈採血)
- (3) 血清生化学検査、尿生化学検査(付、薬剤アレルギー検査、皮内反応)
- (4) 顎部の診察

2) 滅菌および消毒法

手指の消毒, 手術野の消毒, 器械・器具の消毒など

3) 抜歯の基本手技

抜歯鉗子・挺子の使い方

4) 切開と縫合の基本手技

手術訓練用皮膚オプスキンをを用いた切開と縫合など

1-3 第6学年臨床実習

外来実習では抜歯およびその他外来小手術の基本手技、投薬など、病棟実習では入院患者に対する手術を理解し、術前・術後管理の基本などを修得する。

1-4 歯学部第6学年の特別講義を行っている。

1-5 医学部医学科第3学年および歯学部歯学科第3学年の顎顔部臨床ブロックの講義を担当している。

1-6 医学部医学科第4学年、口腔外科の講義、医学部医学科第5学年、口腔外科実習を担当している。

1-7 医学部保健衛生看護学科の講義を担当している。

1-8 医歯学総合研究科医歯科学専攻修士課程の講義を担当している。

### (3) 臨床上的特色

臨床上的特色:近年の口腔外科疾患に対する治療法の進歩により最新かつ専門化した集学的治療体系が必要とされてきている。これに対応して当科では顎変形症、口腔悪性腫瘍、唇顎口蓋裂、顎関節、口腔粘膜疾患に対して専門外来を設け個々の患者へのきめ細かい対応ができる態勢を整えている。同時に集学的治療の実践のため、顎変形症や唇顎口蓋裂では症例検討会を矯正歯科外来と合同で行っており、口腔外科医と矯正歯科医が十分な検討を行った上で治療計画を立てている。また、悪性腫瘍に限らず病態が複雑な疾患や稀少な疾患を対象に口腔病理科、歯科放射線科と合同で臨床病理カンファレンス(CPC)を行い、症例について総合的に検討することにより、診断、治療に関わる知識を深め臨床に役立てている。

### (4) 研究業績

#### [原著]

1. Chigasaki O, Aoyama N, Sasaki Y, Takeuchi Y, Mizutani K, Ikeda Y, Gokyu M, Umeda M, Izumi Y, Iwata T, Aoki A. Porphyromonas gingivalis, the most influential pathogen in red-complex bacteria: A cross-sectional study on the relationship between bacterial count and clinical periodontal status in Japan. *Journal of Periodontology*. 2021.12; 92(12); 1719-1729
2. Yoshinori Arisaka, Hiroki Masuda, Tetsuya Yoda, Nobuhiko Yui. Delayed senescence of human vascular endothelial cells by molecular mobility of supramolecular biointerfaces *Macromolecular Bioscience*. 2021.12; 21(12); 2100216
3. ティーラウオン・チャンヤーンヌット, 坂本 啓, 布川 裕規, 土谷 麻衣子, 栢森 高, 明石 巧, 濱垣 美和子, 富岡 博文, 黒嶋 雄志, 森田 圭一, 原田 浩之, 池田 通. 舌癌症例にみられるヒトパピローマウイルス (HPV) 感染と無関係な p16 免疫染色陽性反応 *口腔病学会雑誌*. 2021.11; 88(2-3); 115-126
4. Okumura T, Hara K, Nakane A, Namiki C, Nakagawa K, Yamaguchi K, Yoshimi K, Toyoshima M, Sasaki Y, Tohara H. Can Videofluoroscopic Swallowing Kinematic Analysis Predict Recovery of Oral Intake in Postoperative Oral Cancer Patients Requiring Nasogastric Tube Feeding? *Int J Environ Res Public Health*. 2021.11; 18(22);
5. Tomomatsu N, Takahara N, Nakakuki K, Kimura A, Kurasawa Y, Terauchi M, Yoda T. A study of unfavorable splits in the sagittal ramus osteotomy with a short lingual cut. *Int J Oral Maxillofac Surg*. 2021.10; 50(10); 1329-1335
6. Shibata E, Morita KI, Kayamori K, Tange S, Shibata H, Harazono Y, Michi Y, Ikeda T, Harada H, Imoto I, Yoda T. Detection of novel fusion genes by next-generation sequencing-based targeted RNA sequencing analysis in adenoid cystic carcinoma of head and neck. *Oral surgery, oral medicine, oral pathology and oral radiology*. 2021.10; 132(4); 426-433
7. Tomomatsu N, Takahara N, Kurasawa Y, Terauchi M, Iwasaki T, Yoda T. Three-dimensional changes in cystic lesions of the mandible after marsupialization *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*. 2021.10;
8. Hakariya M, Arisaka Y, Masuda H, Yoda T, Tamura A, Iwata T, Yui N. Tissue Adhesion-Anisotropic Polyrotaxane Hydrogels Bilayered with Collagen Gels. 2021.10; 7(4); 168
9. Govitvattana N, Kaku M, Ohyama Y, Jaha H, Lin I, Mochida H, Pavasant P, Mochida Y. Molecular Cloning of Mouse Homologue of Enamel Protein C4orf26 and Its Phosphorylation by FAM20C. *Calcif Tissue Int*. 2021.10; 109(4); 445-454

10. Mochizuki Y, Marukawa E, Harada H, Kinoshita N, Nakatani R, Oikawa Y, Hirai H, Tomioka H, Yoda T, Nakamura S, Kurabayashi T. Postoperative morphological changes over time of vascularized scapular bone used for mandibular reconstruction: A retrospective cohort study. *Journal of plastic, reconstructive & aesthetic surgery : JPRAS.* 2021.09; 74(9); 1984-1990
11. Iwanaga J, Kim HJ, Wysiadecki G, Obata K, Harazono Y, Ibaragi S, Tubbs SR.. Localizing the nerve to the mylohyoid using the mylohyoid triangle. *Anat Cell Biol.* 2021.09; 54(3); 304-307
12. Enomoto A, Mano Y, Kawano Y, Nishikawa T, Aoyama T, Sasaki Y, Nagata M, Takahashi H. Comparison of the Safety and Effectiveness of Four Direct Oral Anticoagulants in Japanese Patients with Nonvalvular Atrial Fibrillation Using Real-World Data. *Biological and Pharmaceutical Bulletin.* 2021.09; 44(9); 1294-1302
13. Kurasawa Y, Yoshitake H, Tomomatsu N, Yoda T. Long-term follow-up after arthroplasty for pediatric temporomandibular joint ankylosis performed before the critical period of mandibular growth: A case report. *International journal of surgery case reports.* 2021.09; 86; 106330
14. Takahara N, Tomomatsu N, Hsieh D, Kurasawa Y, Morita KI, Yoda T. Short-Term Stability After Segmental Le Fort I Maxillary Impaction Surgery With Mandibular Autorotation in Seven High-Angle Class II Patients: A Case Series. *J Craniofac Surg.* 2021.08;
15. Yoshitake H, Kayamori K, Wake S, Sugiyama K, Yoda T. Biomarker expression related to chondromatosis in the temporomandibular joint. *Cranio : the journal of craniomandibular & sleep practice.* 2021.07; 39(4); 362-366
16. Harazono Y, Kayamori K, Sakamoto J, Akaike Y, Kurasawa Y, Tsushima F, Sasaki Y, Harada H, Yoda T. A retrospective analysis of schwannoma in the oral maxillofacial region: the clinicopathological characteristics and the specific pathology of ancient change *British Journal of Oral & Maxillofacial Surgery.* 2021.07;
17. Sekiya H, Kurasawa Y, Maruoka Y, Mukohyama H, Negishi A, Shigematsu S, Sugizaki J, Ohashi M, Hasegawa S, Kobayashi Y, Ueno M, Michiwaki Y. Cost-Effectiveness Analysis of Perioperative Oral Management after Cancer Surgery and an Examination of the Reduction in Medical Costs Thereafter: A Multicenter Study *INTERNATIONAL JOURNAL OF ENVIRONMENTAL RESEARCH AND PUBLIC HEALTH.* 2021.07; 18(14);
18. Kim Y, Yagihara K, Yagishita H, Ishii J, Kanda H, Ishikawa A. Basaloid squamous cell carcinoma of the floor of the mouth: A case report with review of the literature. *Oral Science International.* 2021.07;
19. Kaida A, Yamamoto S, Parrales A, Young ED, Ranjan A, Alalem MA, Morita KI, Oikawa Y, Harada H, Ikeda T, Thomas SM, Diaz FJ, Iwakuma T. DNAJA1 promotes cancer metastasis through interaction with mutant p53. *Oncogene.* 2021.06;
20. Masuda H, Arisaka Y, Hakariya M, Iwata T, Yoda T, Yui N. Synergy of molecularly mobile polyrotaxane surfaces with endothelial cell co-culture for mesenchymal stem cell mineralization *RSC Advances.* 2021.06; 11(30); 18685-18692
21. Sekiya H, Kurasawa Y, Kaneko K, Takahashi K, Maruoka Y, Michiwaki Y, Takeda Y, Ochiai R. Preventive Effects of Sustainable and Developmental Perioperative Oral Management Using the "Oral Triage" System on Postoperative Pneumonia after Cancer Surgery *INTERNATIONAL JOURNAL OF ENVIRONMENTAL RESEARCH AND PUBLIC HEALTH.* 2021.06; 18(12);
22. Kawasaki R, Sasaki Y, Nishimura T, Katagiri K, Morita KI, Sekine Y, Sawada S, Mukai S, Akiyoshi K. Magnetically Navigated Protein Transduction In Vivo using Iron Oxide-Nanogel Chaperone Hybrid *ADVANCED HEALTHCARE MATERIALS.* 2021.05; 10(9);
23. Miki K, Aizawa Y, Fujii S, Karakama J, Fujita K, Sasaki Y, Nemoto S, Sumita K. Combined Technique Thrombectomy with a Long Balloon-Guiding Catheter and Long Sheath Aids in Rapid and Stable Recanalization in Patients with Anterior Circulation Acute Ischemic Stroke *JNET: Journal of Neuroendovascular Therapy.* 2021.05; 15(5); 281-287
24. Arisaka Y, Hakariya M, Iwata T, Masuda H, Yoda T, Tamura A, Yui N. Surface-tethering of methylated polyrotaxanes with 4-vinylbenzyl groups onto poly(ether ether ketone) substrates for improving osteoblast compatibility. *Dental materials journal.* 2021.05; 40(3); 813-819

25. Ohyama Y, Yamashiro M, Michi Y, Uzawa N, Myo K, Sonoda I, Sumino J, Miura C, Mizutani M, Yamamoto D, Kayamori K, Yoda T. . Determination of Significant Prognostic Factors for Maxillary Gingival Squamous Cell Carcinoma in 90 Cases. *Indian Journal of Otolaryngology and Head & Neck Surgery*. 2021.04;
26. Iida T, Nakamura M, Inazawa M, Munetsugu T, Nishida M, Fujimoto T, Sasaki Y, Ohshima Y, Nakazato Y, Namiki T, Yokozeki H. Prognosis after steroid pulse therapy and seasonal effect in acquired idiopathic generalized anhidrosis. *The Journal of Dermatology*. 2021.03; 48(3); 271-278
27. Aragaki T, Tomomatsu N, Michi Y, Hosaka H, Fukai Y, Iijima M, Yoda T. Ramucirumab-related Oral Pyogenic Granuloma: A Report of Two Cases *Internal Medicine*. 2021.03;
28. Terauchi M, Michi Y, Hirai H, Sugiyama K, Wada A, Harada H, Yoda T. Prognostic factors in mucoepidermoid carcinoma of the minor salivary glands: A single-center retrospective study. *Oral surgery, oral medicine, oral pathology and oral radiology*. 2021.02; 131(2); 209-216
29. Sekiya-Aoyama R, Arisaka Y, Hakariya M, Masuda H, Iwata T, Yod T, Yui N. Dual effect of molecular mobility and functional groups of polyrotaxane surfaces on the fate of mesenchymal stem cells *Biomaterials Science*. 2021.02; 9(3); 675-684
30. Kayamori K, Tsuchiya M, Michi Y, Kuribayashi A, Mikami T, Sakamoto K, Yoda T, Ikeda T. Primordial odontogenic tumor occurred in the maxilla with unique calcifications and its crucial points for differential diagnosis. *Pathol Int*. 2021.01; 71(1); 80-87
1. 八木原一博, 原浩樹, 石井純一, 炭野淳, 桂野美貴, 柴田真里, 金裕純, 原口美穂子, 石川文隆. Nivolumab 投与 2 年, 完全奏効し投与終了とした再発転移舌癌の 1 例 *日本口腔腫瘍学会誌*. 2021.12; 33(4); 195-202
2. Okuyama K, Yanamoto S, Michi Y, Shibata E, Tsuchiya M, Yokokawa M, Naruse T, Tomioka H, Kuroshima T, Shimamoto H, Ikeda T, Umeda M, Yoda T, Harada H.. Multicenter retrospective analysis of clinicopathological features and prognosis of oral tongue squamous cell carcinoma in adolescent and young adult patients *MEDICINE*. 2021.10; 100(41); e27560
3. 柴田恵里, 奥山紘平, 道 泰之, 坂本 啓, 原田浩之, 依田哲也. 肺転移に対し外科療法を行った下顎骨原発骨肉腫の 1 例 *日本口腔外科学会誌*. 2021.06; 67(6); 353-358
4. 丸川 恵理子. 要らない歯の有効利用 歯の移植・再植のススメ *日本歯科産業学会誌*. 2021.06; 35(1); 47
5. 岡安一郎, 和気裕之, 達聖月, 鮎瀬卓郎. 狭義の歯科心身症に該当する顎関節症の 2 例 2021.05; 13(1); 55-61
6. 金裕純, 八木原一博, 炭野淳, 石井純一, 桂野美貴, 柴田真里, 松木繁男, 原口美穂子, 柳下寿郎, 石川文隆, 横田治. 頬粘膜に生じた孤立性線維性腫瘍の 1 例 *埼玉医学会雑誌*. 2021.03; 55; 419-424
7. 依田哲也. 東京医科歯科大学歯学部近況について *東京医科歯科大学歯科埼玉同窓会会報*. 2021.01; 50; 5-6

#### [書籍等出版物]

1. 友松伸允, 依田哲也. 医局紹介: 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学分野.. *the Quintessence*, 2021.09
2. 依田哲也. *口腔外科ハンドマニュアル' 21*. 2021.06
3. 山城正司. *歯科・口腔用薬. 治療薬ハンドブック 2021.. 株式会社じほう*, 2021.01
4. 山城正司. *手術療法 口腔・看護学入門 7 基礎看護 . メヂカルフレンド社*, 2021
5. 島田 淳 編著 佐藤文明, 澁谷智明, 日高玲奈, 兜森彩日, 根橋杏未. *歯科衛生士のための顎関節症ガイドブック*. 医歯薬出版株式会社, 2021
6. 島田 淳, 澁谷智明, 羽毛田 匡, 古泉貴章, 永田和裕, 佐藤文明. *顎関節症治療におけるセルフケアをマスターする! チームアプローチで治す顎関節症*. 歯界展望, 2021

**[総説]**

1. Masahiko Terauchi, Atsushi Tamura, Yoshinori Arisaka, Hiroki Masuda, Tetsuya Yoda, Nobuhiko Yui. Cyclodextrin-based supramolecular complexes of osteoinductive agents for dental tissue regeneration. *Pharmaceutics*. 2021.01; 13(2); 136
1. 依田哲也. 気になる症状の Q & A 顎関節症 秋のけんこう. 2021.09; (2021 年秋号); 19

**[講演・口頭発表等]**

1. 加地博一, 高原楠旻, 原園陽介, 倉沢泰浩, 山本大介, 津田晋平, 坂本啓, 依田哲也. 上顎骨内に発生した腺腫様歯原性腫瘍の 1 例. 第 212 回 日本口腔外科学会関東支部学術集会 2021.12.18 東京
2. 津田晋平, 友松伸允, 中久木康一, 黒原一人, 佐久間朋美, 倉沢泰浩, 高原楠旻, 依田哲也. Le Fort 型骨切り後の長期骨癒合不全症例に対して腸骨移植併用による再固定を行った 1 例. 第 212 回日本口腔外科学会関東支部学術集会 2021.12.18
3. 友松伸允. 顎変形症治療の基本知識と手術手技. 日本メディカルネクスト Webinar 2021.12.02
4. 和気裕之, 小見山道, 玉置勝司, 岡安一郎, 島田淳, 澁谷智明, 松香芳三, 山口泰彦, 石垣尚一, 佐々木啓一, 築山能大, 窪木拓男, 角忠輝. 「歯科心身症の概念」の提案. 第 26 回日本口腔顔面痛学会総会・学術大会 2021.11.20 静岡県
5. 外内えり奈, 原園陽介, 安西絵梨, 高原楠旻, 森田圭一, 依田哲也. 中間顎骨切り併施顎裂部骨移植術における中間顎固定法の工夫. 第 66 回日本口腔外科学会総会 2021.11.12 幕張
6. 外内えり奈, 原園陽介, 安西絵梨, 高原楠旻, 森田圭一, 依田哲也. 中間顎骨切り併施顎裂部骨移植術における中間顎固定法の工夫. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2021.11.12
7. 大山巖雄, 稲葉好則, 道泰之, 金丸智紀, 久保田真子, 岩崎拓也, 長谷川和樹. 頬粘膜癌に対し全層植皮を行った症例の臨床的検討. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2021.11.12
8. 山本大介, 高原楠旻, 依田哲也, 友松伸允, 中久木康一. 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症における三次元的評価による術後安定性. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2021.11.12
9. 山崎新太郎, 清水真優, 平山涼子, 井関祥子, 依田哲也, 池田正明. 軟骨内骨化を介した骨再生に適したヒト間葉系幹細胞の培養条件および足場材料の検討. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2021.11.12
10. 高原楠旻. 習慣性顎関節脱臼に対する開口訓練と上関節腔洗浄療法 シンポジウム 顎関節脱臼の治療/習慣性顎関節脱臼 ベストな治療法は何か? . 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2021.11.12
11. 金裕純, 八木原一博, 炭野淳, 桂野美貴, 石井純一, 柴田真里, 柴田恵里, 角谷宏一, 石川文隆. 下顎切痕部に生じた周辺性骨腫の 1 例. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2021.11.12
12. 大山巖雄. 当科における再建手術前準備～初診から手術まで～ 下顎再建. シンセス Webinar 2021.11.06
13. 大山巖雄, 稲葉好則, 金丸智紀, 久保田真子, 澤田智一, 長谷川和樹. 下顎半側切除に対し TruMatch を用いて肩甲骨再建を行った症例 下顎再建. シンセス Webinar 2021.11.06
14. 佐藤文明. TCH(Tooth Contacting Habit) マネージメントから考える歯科臨床. 岩見沢歯科医師会学術講演会 2021.11.05
15. 倉沢泰浩, 儀武啓幸, 高原楠旻, 友松伸允, 依田哲也. 成長期前の学童の顎関節強直症に対し顎関節授動術を施行し長期経過観察した 1 例. 第 34 回日本顎関節学会総会・学術集会 2021.10.23
16. 佐久間朋美, 高原楠旻, 儀武啓幸, 依田哲也. 関節突起に発症した骨肉腫の長期経過観察症例. 第 34 回日本顎関節学会総会・学術集会 2021.10.23
17. 高原楠旻. 顎関節症円板障害 IIIa から IIIb への移行期における画像所見と治療 シンポジウム 4 現在から未来につなぐ顎関節疾患の臨床と研究. 若手臨床家・若手研究者からのメッセージ. 第 34 回日本顎関節学会総会・学術集会 2021.10.23
18. 儀武啓幸. 顎関節症円板障害 IIIa から IIIb への移行期における画像所見と治療 シンポジウム 3 顎関節疾患の診断と外科治療 運動療法が奏功しない場合の対応について考える. 第 34 回日本顎関節学会総会・学術集会 2021.10.23



19. 和気裕之, 依田哲也, 小見山道, 玉置勝司, 島田淳, 澁谷智明, 松香芳三, 山口泰彦, 石垣尚一. 歯科心身症を再考する 歯科心身症の概念の提案 . 第 34 回日本顎関節学会総会・学術集会 2021.10.23
20. 和気裕之, 玉置勝司, 石垣尚一, 島田淳, 松香芳三, 山口泰彦, 澁谷智明. 咬合違和感患者の診療フローチャートの提案.. 第 34 回日本顎関節学会総会・学術集会 2021.10.23 Web 開催
21. 佐藤文明. 教育講演・セミナー 1 歯科衛生士セミナー 歯科衛生士がどのように顎関節症と関わるか? . 第 34 回日本顎関節学会総会・学術集会 2021.10.23
22. 友松 伸允. ビギナーとスペシャリストの間の目線より. OGS Webinar 2021.09.04
23. 益田洋輝, 有坂慶紀, 秤屋雅弘, 岩田隆紀, 依田哲也, 由井伸彦. シクロデキストリン含有ポリロタキサン表面を用いた血管内皮細胞—間葉系幹細胞共培養系における迅速な石灰化誘導. 第 37 回シクロデキストリンシンポジウム 2021.09.02
24. 朱 虹霏, 田村篤志, 寺内正彦, 依田哲也, 由井伸彦. 細胞内コレステロールへ作用する -CD 含有ポリロタキサンを用いた破骨細胞分化の抑制. 第 37 回シクロデキストリンシンポジウム 2021.09.02
25. 三上理沙子, 水谷幸嗣, 佐々木好幸, 岩田隆紀, 青木章. 歯周治療におけるレーザーの疼痛制御効果 システマティックレビューおよびメタ分析 . 第 24 回日本歯科医学会学術大会 2021.09 Web 開催
26. 新垣理宣, 坂本潤一郎, 名生邦彦, 大橋崇志, 廣瀬太郎, 宮本健志, 依田哲也, 倉林亨. 造影 CT でガス産生像を認めた薬剤関連顎骨壊死の 1 例. 日本歯科放射線学会 第 232 回関東地方会・第 40 回北日本地方会・第 28 回合同地方会 2021.08.21 Web 開催
27. 山崎新太郎, 清水真優, 井関祥子, 依田哲也, 池田正明. 軟骨内骨化を介した骨再生に適したヒト間葉系幹細胞の培養条件および足場材料の検討.. 第 42 回 日本炎症・再生医学会 2021.07.07
28. 益田洋輝, 有坂慶紀, 依田哲也, 由井伸彦. ポリロタキサン表面に接着した細胞の網羅的遺伝子発現解析. 第 50 回医用高分子シンポジウム 2021.07.05
29. 和気裕之, 依田哲也, 小見山道, 玉置勝司, 岡安一郎, 宮地英雄, 宮岡等, 松香芳三. 歯科心身症を再考する. 第 36 回日本歯科心身医学会総会・学術大会 2021.06.19 Web 開催
30. 大山巖雄. 口腔がん ～病理診断と治療の密接な関係～. 静岡県臨床細胞学会第 42 回春期学術集会 2021.06.13
31. 友松伸允, 高原楠旻, 中久木康一, 木村敦, 倉沢泰浩, 岩崎拓也, 依田哲也. LeFort Ⅱ型骨切り施行後の鼻腔内の形態変化に関する検討. 第 31 回日本顎変形症学会総会・学術集会 2021.06.11
32. 赤池優, 安西絵梨, 森田圭一, 津島文彦, 依田哲也. 機械学習を用いた扁平苔癬用病変に特徴的な病理画像である Spongiosis の識別. 第 3 回日本メディカル AI 学会学術集会 2021.06.11
33. 岩崎拓也, 友松伸允, 高原楠旻, 中久木康一, 中里桂一郎, 木村敦, 倉沢泰浩, 依田哲也. オトガイ形成術のための下顎管アンテリアループの 3 次元解剖学的検討. 第 31 回日本顎変形症学会総会・学術集会 2021.06.11
34. 外内えり奈, 正木啓太, 原園陽介, 星礼子, 安西絵梨, 高原楠旻, 森田圭一, 依田哲也. Pushback 法と Furlow 法における鼻咽腔閉鎖機能の初期獲得状況に関する比較. 第 45 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2021.05.20 大阪
35. 外内えり奈, 正木啓太, 原園陽介, 星礼子, 安西絵梨, 高原楠旻, 森田圭一, 依田哲也. Pushback 法と Furlow 法における鼻咽腔閉鎖機能の初期獲得状況に関する比較. 第 45 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2021.05.20
36. 小川卓也, 春山直人, 鈴木陽, 三島木節, 依田哲也, 高橋一郎, 森山啓司. 長期にわたり矯正歯科的管理を行った視覚障害を有する片側性口唇口蓋裂の 1 例. 第 45 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2021.05.20
37. 金裕純, 八木原一博, 石井純一, 炭野淳, 桂野美貴, 柴田真里, 柴田恵里, 角谷宏一. セツキシマブ併用放射線療法が著効した進行頰粘膜癌の 1 例. 第 47 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会 2021.05.15
38. 竹本 暁, 田中 敏博, 森田 圭一, 栢森 高, 北川 昌伸, 稲澤 譲治. 東京医科歯科大学疾患バイオリソースセンター (TMDU BRC) におけるバイオバンク事業. 第 110 回日本病理学会総会 2021 年 4 月 22-24 日 2021.04.22 東京
39. 柴田恵理, 森田圭一, 栢森高, 原園陽介, 道泰之, 池田通, 原田浩之. 新規融合遺伝子の同定を含めた腺様嚢胞癌の遺伝子検索. 第 39 回日本口腔腫瘍学会総会 2021.01.28 WEB 開催

40. 柴田恵里, 森田圭一, 栢森高, 原園陽介, 道泰之, 原田浩之. 新規融合遺伝子の同定を含めた腺様嚢胞癌の遺伝子検索. 第 39 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2021.01.28
41. 稲葉 好則, 金丸 智紀, 久保田 真子, 長谷川 和樹, 大山 巖雄. 当科における口腔癌に対する臨床的統計. 第 39 回日本口腔腫瘍学会総会 2021.01.28

**[受賞]**

1. The 1st runner-up prize for the Oral Paper Competition, 2021 年 06 月
2. 日本心身医学会 功労会員, 一般社団法人日本心身医学会, 2021 年 07 月

**[その他業績]**

1. 口腔内の感染対策について～標準予防策と口腔ケアの重要性～ 令和 3 年度第 1 回院内感染対策, 2021 年 06 月  
静岡市立病院病院内 令和 3 年度第 1 回院内感染対策

**[社会貢献活動]**

1. 実習室に愛称を 東京医科歯科大, 毎日新聞社, 毎日新聞, 2021 年 03 月 19 日
2. オリンピック支援, 国際オリンピック委員会, Olympic 2020 Tokyo, オリンピック選手村(勝どき), 2021 年 07 月 21 日 - 2021 年 08 月 06 日
3. 専門医がお答えします! 気になる症状の Q & A, 社会保険出版社, 秋のけんこう, 2021 年 07 月 30 日